

授業科目名 英語音声学 I English phonetics I	科目区分		授業コード 104540
講義題目	単位数 1	時間割 前 金 4	
	対象年次及び学科 2年 全学科		
教員名  長井克己 (大学教育開発センター)	関連授業科目		
	履修推奨科目		
授業の概要 文字を持たない言語の例を引くまでもなく、音声は言語の本質である。この講義では語学教師として必要な(1)正確な聞き取り、(2)明瞭な発音、(3)それらの指導法、についての基礎を学ぶ。実技科目であるため、口を動かさない受講者の単位は認定できない。また、医学科の学生が骨や筋肉の名前を覚えさせられるのと同様に、プロの語学教師となる者は、調音器官の名称や、辞書で用いられる発音記号の暗記が必要となる。苦しいが頑張ること。			
授業の目的・達成目標 1. 母音と子音の正確な聞き取りと丁寧な発音ができるようになる。 2. 発音記号の仕組みを理解し、使えるようになる。			
授業及び学習の方法 1. 教科書の指示を正確に読み、正確な発音を練習する。 2. Podcastの英語ニュースを利用し、自然な速度の英語の聞き取り練習を行う。			
成績評価の方法と基準 授業中の発表(30%)、課題演習(20%)、及びテスト(50%)の合計で単位を認定する。発表はCh. 2-12のうちからどれか1章を選び、ハンドアウトを配布して行う。ハンドアウトは白黒原稿を当日正午までに長井研究室(5号館5階)ポストへ入れておくこと。課題演習は宿題提出と授業中の練習。試験は7月9日教室で行うが、教科書の Fig. 1 (p. 8), Fig. 2 (p. 9), Fig. 5 (p. 13), Fig. 6 (p. 16), Table 1 (p. 52) は丸暗記が必要。			
授業計画 Wk 1 (Apr 9) Introduction to the course Wk 2 (Apr 16) The production of speech sounds Wk 3 (Apr 23) Long vowels, diphthongs and triphthongs Wk 4 (Apr 30) Tutorial Wk 5 (May 7) Voicing and consonants Wk 6 (May 14) Phonemes and symbols Wk 7 (May 21) Fricatives and affricates Wk 8 (May 28) Nasals and other consonants Wk 9 (June 4) The syllable Wk 10 (June 11) Strong and weak syllables Wk 11 (June 18) Stress in simple words Wk 12 (June 25) Complex word stress Wk 13 (July 2) Weak forms Wk 14 (July 9) Term exam Wk 15 (July 16) Follow-up			
教科書 Roach, P. 2009. English Phonetics and Phonology (4th ed.). Cambridge U.P. ISBN 978-0-52171740-3 42ドル(アマゾンで4,631円)ほどするが、後期も続けて使用する。			
参考書 英語の文献は教科書pp.219-221参照。日本語で読めるものなら、音声学一般については「改訂音声学入門」(小泉2003, 大学書林)、英語の音声学については「英語音声学」(竹林1996, 研究社)を勧めておく。			
オフィスアワー			
履修上の注意 聴覚や構音に障害を持つ学生は履修前に必ず相談のこと。			
URL:	<a href="http://www.ed.kagawa-u.ac.jp/~nagai/">http://www.ed.kagawa-u.ac.jp/~nagai/</a>		
E-Mail:	全て半角で nagai の後に @cc.kagawa-u.ac.jp をつけてください		